

■令和6年度 市長をかこむ会

江戸岡地区 R6.9.6 (金)

19:00~20:34

場所: 江戸岡地区公民館

出席者	住民	23人	市 大城市長・福岡市民福祉部長 政策推進課 菊地補佐・山下補佐
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
市立病院事務局	※事前質疑 市立病院での 支払い方法に ついて	現在、診療後の支払いは窓口で現金のみだと思うが、周りの大きな病院では窓口でのクレジットカード決済などのできる。八幡浜でも使えるようになるか。今後は対応していく予定はあるか。	現在、市立八幡浜総合病院ではカードや電子決済での支払いは行っていない。 カード決済や電子決済においては、クレジットカード会社や電子マネー会社に当院が支払金額の2~3%程度の決済手数料を支払う必要がある。 また、カード決済等は、支払したタイミングではなく一定期間経過後、まとめて入金されることから、入金サイクルも遅くなる。 現在、当院においては、少子高齢化による人口減少の影響もあり、患者数の減少等により収益が減少し、医業外費用等の削減等の対策を行い、経営の効率化に努めている状況である。 なお、当院では、自動精算機・窓口精算機・会計案内表示システムを導入し、8月19日から稼働している。 自動精算機は、患者様が診察や治療を受けた後に自身で精算を完了させることができる機械であり、業務の効率化による人手不足の解消や、会計までの待ち時間の短縮が期待できる。 カード決済等の導入については、自動精算機等の稼働状況や、今後の他市町の状況も見ながら、引き続き、検討したい。
総務課	※事前質疑 令和6年度の 防災訓練に参 加して	①江戸岡地区第1分区には避難ビルとしてJA西宇和本店ビルと四国電力アパートが指定されている。JA西宇和本店ビルにおいては夜間休日等は職員不在、四国電力アパート入口はオートロック方式で緊急時の開錠は住人が当番制で担っているのが現状である。 先日、夜間に発生した豊後水道地震では一部住民がJA西宇和本店ビルの前に避難してきたと聞いている。 今回の防災訓練の参加者に上記の件を伝えたが、緊急時に避難できない可能性があることを住民に伝えることに少し抵抗があった。 いつ発生するか分からない南海トラフ巨大地震に対し、安全確実に避難可能な避難ビルを選定してほしい。 ②江戸岡地区第1分区の指定避難所は江戸岡小学校、江戸岡地区公民館、神宮通り福祉会館となっているが、いずれも南海トラフ巨大地震発生時に予想される津波浸水範囲に入っている。参考までに南海トラフ巨大地震発生時において、市が現在考えている第1分区の避難所を教えてください。	①津波避難ビルとして指定しているJA西宇和本店ビルは、夜間は職員が不在だが、本市で震度5以上を観測した場合には、JA本店内において対策本部が立ち上がり、JA職員が参集することとなっているので、建物は開錠される。 また、四国電力絨まつかやアパートは、月当番の世帯が、オートロックを解除することになっている。 愛媛県が示した津波による被害想定では、八幡浜港に51分後に1mの津波が襲来し、72分後に最大津波9mが襲来することとなっている。また、津波災害警戒区域は、八幡浜高校付近までとなっている。地震・津波に対する避難方法については、津波避難ビルへの避難だけでなく、遠くへの避難など、複数考えてほしい。そのため、現時点では新たな津波避難ビルの指定は考えていない。 ②指定避難所とは、被災者等が一定期間滞在するための施設で、指定緊急避難場所は、災害による危険から一時的・緊急的に避難する場所になる。 江戸岡地区では、江戸岡小学校を含め8施設を市の指定避難所としている。本市全体では、84施設を指定避難所としている。江戸岡地区第1分区の指定避難所というのではなく、江戸岡地区にある指定避難所なので、保健福祉総合センター、八幡浜高等学校等、他地区の指定避難所へ避難してほしい。 【補足】 令和5年度から3か年の事業である愛媛県と宇和海沿岸5市町で実施している「八幡浜市夜間津波避難対策事業」において、地震連動開錠鍵保管庫のみの設置は難しいが、津波避難ビルへの避難として、ソーラー式外灯も併用して設置する場合は、補助対象とする旨の回答が愛媛県からあったので、江戸岡地区自主防災会に情報提供を行った。 この補助事業については、県1/2、市1/2、上限200万円となっている。また、夜間避難訓練の実施や避難路の清掃整備の実施も必要となることも加えて説明済み。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
学校教育課	※事前質疑 奨学金について	奨学金について、過去5年間の高校、大学、専門学校別の申込数、採用数を教えてほしい。また、西村奨学金も併せて教えてほしい。	八幡浜市奨学資金貸付開始年度別の内訳は、令和元年度1名(申請3名、採用3名、辞退2名)、令和2年度3名(申請3名、採用3名)、令和3年度0名(申請1名、採用1名、辞退1名)、令和4年度0名(申請2名、採用2名、辞退2名)、令和5年度1名(申請1名、採用1名)、令和6年度2名(申請2名、採用2名)であった。 辞退理由としては、他の有利な奨学金が決定したこと、他の奨学金との併用が禁止であること、連帯保証人がいないなどであった。 改正状況は、今年度より、他の奨学金との併用を可能として、利便性の向上を図った。 今年度の奨学資金貸与者は、学校別では高校生が1名、短期大学0名、専修学校2名である。貸与額は月額で、高校生が12,000円、短期大学、専修学校が35,000円である。 西村奨学資金の対象は、大学生で特に優秀な者1名に貸し付けるもので、現在、利用者はいない。貸与額は月額で、45,000円である。(令和5年度は申請1名、採用1名、辞退1名)
建設課	古いビルの震災対策について	JR八幡浜駅から港までの無電柱化プロジェクトのエリアについて、地震の際、電柱は倒れなくなるが、古いビルは倒れる可能性がある。木造だけでなく、古いビルの震災対策の予定はないか。	古い鉄筋コンクリートの建物の対策も考える必要がある。研究させてほしい。
総務課・建設課	愛宕山プロジェクトについて	津波の際、江戸岡地区にとって一番の避難先は愛宕山である。愛宕山プロジェクトにおいて、江戸岡地区からの進入路はあるのか。	愛宕山への新設道路ができないか検討していたが、斜面が急峻であり難しい状況である。もう少し時間をかけて研究したい。
政策推進課・学校教育課	閉校後の愛宕中学校の活用方法について	愛宕中学校の閉校後、どういった活用方法を予定しているのか。	現在、市役所内部で組織を立ち上げて、閉校後の活用方法を検討している段階である。
総務課・建設課	愛宕山プロジェクトについて	防災の観点から、愛宕山にヘリポートを設置してほしい。	ヘリポートは作る計画である。 【補足】 (総務課) 今後、プロジェクトの進捗状況により、どのような使用方法があるのかを、しっかりと市民の皆様と検討していきたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	避難所の運営 充実について	震災後の避難所において、必要な物資の情報を共有し、全国から支援を受けられる体制を構築してほしい。また、認知症の方、障がい者の方、社会的弱者などが避難してきても集団生活を送れるように周囲の方への教育を実施してほしい。	市職員は避難所運営ゲーム(HUG)を実施し、避難所での運営方法を訓練している。自主防災組織でもHUGを実施し、何をすべきか、何ができるのかを確認してほしい。なお、避難所開設後、配慮が必要な方は福祉避難所に移ってもらうようになる。福祉避難所は保健センター、保内保健センター、湯島の里、あけぼの荘の4か所あるが、今後、民間の施設も含めて増やしていきたいと考えている。 【補足】 基本的に大規模災害時には、県が開設する広域物資輸送拠点(西予市宇和運動公園)、市が開設する地域内輸送拠点(環境センター)を経て、各指定避難所等に緊急に必要な食料及び生活必需品を届ける体制となっている。 (指定福祉避難所) 保健福祉総合センター、保内保健センター、八幡浜市養護老人ホーム湯島の里、あけぼの荘、八幡浜市障がい者施設いきいきプチファームの5施設
学校教育課	小学校入学について	障がいのある4歳の孫がいる。再来年には小学校に入学するが、就学支援はどうなっているのか。また、保護者が希望すれば、希望の小学校に入学できるのか。	八幡浜市では障がいのある方もない方も同じところで学べるようにしており、重度の障がいでない限りは希望の学校に行けると思う。詳しくは教育委員会に聞いてほしい。 【補足】 小学校では、年間通して就学に関する相談を行っています。通われている保育所、幼稚園、認定こども園又は教育委員会に問い合わせしてほしい。
子育て支援課	児童遊園について	児童遊園の遊具について、使用不可となったものを撤去することは理解できるが、その後、子どもたちのためにも新しい遊具を設置してほしい。	新設する場合、地元の希望を聞きながら遊具を設置する。
学校教育課	八幡浜中学校の通学路について	来年に旧市内3中学校が八幡浜中学校1校になるが、通学路は決まっているのか。また、通学路の安全性をどのように考え、どのような対策を考えているのか。	自宅から学校までの距離に応じて、移動手段が徒歩、自転車、バス・タクシーになる範囲は決まっているが、自転車の通学ルートまでは把握していない。子どもたちを守るために、通学ルートを保護者や住民の方に情報開示するように教育委員会に伝えておく。 【補足】 八幡浜中学校の通学路については、生徒の安全を第一に考え、統合準備委員会で設定している。今年度生徒に通学路を通ってもらい検証を行う。
建設課	裁判の進捗状況について	日土町の県道で自転車が転倒し、県と市が訴えられたという記事を新聞で見た。その後どうなったのか。	地方裁判所では判決がでたが、相手が控訴したため、現在、高等裁判所で裁判が継続中である。 【補足】 控訴されたのは市のみである。
保健センター	保健センターの建て替えについて	保健センターをよく利用するが、外壁が落ちたり、雨漏りしたりしている。今後、保健センターは修繕して使い続けるのか、現在地で建て替えるのか、それとも他の場所に建てるのか。	現在の保健センターの状況は把握している。閉校後の学校も候補の一つとして、新しい場所に建てる方向で検討しており、なるべく早い時期に建て替えるようにしたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
総務課	避難ビル及び避難所の開閉について	宇和島市では、震度5程度で避難ビルや避難所の鍵保管庫が開錠する「地震電動自動開錠鍵保管庫」を46か所設置している。八幡浜市でも設置をしてほしい。	<p>「地震電動自動開錠鍵保管庫」のシステムやスマートフォンを使って施設を開閉することを検討していきたい。</p> <p>【補足】 令和5年度から3か年の事業である愛媛県と宇和海沿岸5市町で実施している「八幡浜市夜間津波避難対策事業」において、地震連動開錠鍵保管庫のみの設置は難しいが、津波避難ビルへの避難として、ソーラー式外灯も併用して設置する場合は、補助対象とする旨の回答が愛媛県からあったので、江戸岡地区自主防災会に情報提供を行った。この補助事業については、県1/2、市1/2、上限200万円となっている。また、夜間避難訓練の実施や避難路の清掃整備の実施も必要となることも加えて説明済み。</p>